

上越地域振興局健康福祉環境部

モデル園：柿崎第二保育園（上越市）

実施期間：平成21年11月2日～平成22年3月31日

お口げんき体操ワン・ツー・スリー

対象：4・5歳児（45人）

○実施してみた○

音楽に合わせて楽しんでいました。慣れてくると2クラス隣り合わせの部屋なので、対抗して大きな声をだすようになりました。普段小さい声の子が意識して大きい声を出そうとする姿も見られました。

毎日食事前というのは難しく時間が取れないこともありましたが、子どもたちの方から要求してきた時もありました。

よく^か噛んで食べるための習慣を定着する取組

対象：45人

○取組内容○

^か噛むことへの意識付け

○実際に行ったこと○

給食と一緒に配っていたお茶を食後にしました。意識して^か噛むよう言葉かけをしました。

○実施してみた○

水分をよく欲しがっていた子の中に、飲み込むために要求していた子がいたことがわかりました。水分を後にすることで食べ終わるのに時間を要した子もいましたが、しばらく続けることで時間が少しずつかからなくなってきました。

保育園の独自の取組

保育参観で、園での取組を知ってもらう

対象：45人

○実際に行ったこと○

フッ化物洗口・お口の体操を参観してもらいました。

栄養士より^か噛むことの大事さを話してもらったり、質問に答えてもらいました。

○実施してみて○

個々の^か噛む様子を把握するきっかけになりました。また、家での食事中の水分の与え方を考えたいという保護者の感想をいただきました。

事業全体を振り返って

数値で^か噛む力や声の出し方がわかるので、保護者への説明がし易かったです。食事中の水分の与え方について園全体で話し合い、様子を見ながら実施することにしました。